特別支援学校防災教育推進全体計画（例）

幼児・児童・生徒の実態

地域の特性

学校目標

防災教育の目標

・災害による危険や安全に行動することの大切さについての理解を図る。

・災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図り、進んで安全な行動ができる力を育成する。

・周りの人の安全にも配慮できるようにし、他者に対する思いやりや助け合いの心を根付かせる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 推　進　の　視　点 | | |
| 防災体制の整備充実 | 兵庫の防災教育の推進 | 指導力・実践力の向上 |
| ・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化  ・家庭や地域及び関係機関との連携  ・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備  ・日常の安全管理と避難経路等の点検 | ・教育活動全体を通じ、教科を横断した防災教育の推進  ・防災教育副読本等の活用  ・幼児、児童、生徒個々の状況に応じた心のケアの充実  ・家庭、地域と連携した効果的な防災訓練等の工夫・実施 | ・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上  ・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実  ・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 各　学　部　の　目　標 | | | |
| 幼稚部 | 小学部 | 中学部 | 高等部 |
| ・災害時に教職員や保護者の指示に従い行動できるようにする。 | ・生命の尊さを感じ、災害から自らの命を守ることの大切さを理解できるようにする。  ・災害時に起こる様々な危険について知り、大人の指示のもと、自らの命を守るための行動をとれるようにする。 | ・過去や他地域の災害から、災害の危険や落ち着いて安全に行動することの大切さを理解できるようにする。  ・災害から命を守るため、日常の備えや避難行動ができるようにする。  ・支え合いで生活が成り立っていることに感謝し、自分にできることを進んで行おうとする態度を養う。 | ・災害や防災に関する理解を深め、災害時に適切な意思決定や行動選択ができるようにする。  ・応急手当の意義を理解し、心肺蘇生等の応急手当ができるようにする。  ・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解できるようにする。  ・自分の役割を自覚し、協力して責任を果たそうとする態度を養う。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 幼稚部　各領域 |  | 各教科・外国語活動 |  | 特別の教科　道徳 |
| ・災害時の行動の仕方  ・友達への思いやりの心  ・自分の生活に関係の深い地域の人々への親しみ  ・自然等の身近な事象への関心 | ・自然と災害に関する基礎的な知識  ・地域の人々や自然との関わり  ・自然災害から安全を守る地域での支え合い  ・危険の予測や回避の方法  ・心肺蘇生等の応急手当 | ・思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること  ・信頼し助け合う仲間づくり  ・命を大切にする心、外国の人々や文化に親しむ心、人権の尊重 |
|  |  |  |  |  |
| 特　別　活　動 |  | 総合的な学習・探究の時間 |  | 自　立　活　動 |
| ・災害から身を守る安全な行動や規律ある集団行動  ・災害発生時の避難所の役割や生活  ・ボランティア活動や地域における体験活動等 | ・ボランティア活動や地域における社会体験  ・過去の災害に対する地域の取組やこれから起こりうる災害への対策について考える学習 | ・障害特性の理解と日常生活に必要な基本動作  ・災害等の不測の事態への対応  ・状況に応じたコミュニケーションと他者との関わり |